

# 令和7年度県立学校養護教諭研修会

## ～予防接種の推進について～

令和8年2月16日

群馬県健康福祉部感染症・疾病対策課  
感染症危機管理室

# HPVワクチンについて

## 子宮頸がん

- HPV（ヒトパピローマウイルス）への感染を主な原因とするがん
- 年間約11,000人が罹患し、約2,900人が亡くなっている

## HPVワクチン

- HPV感染を防ぐことにより子宮頸がんなどのHPV感染を原因とする「がんを予防できるワクチン」
- 世界の数多くの国で接種されており、高い予防効果と安全性が証明されている

## 誤った副反応報道を端緒にした接種勧奨の中止

- 定期接種開始後にエビデンスの無い副反応報道が過熱し、社会の不安感が煽られた
- 科学的根拠に基づいた正しい知識が報道されず、国や政府への批判が過熱
- 厚生労働省が積極的な接種勧奨を一時中止し、実質的な定期接種の中止に

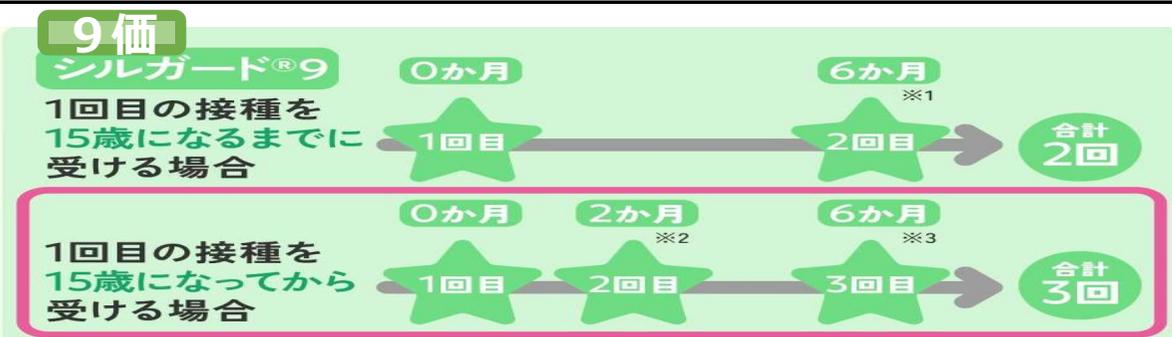
## 接種勧奨の再開と接種の低迷

- 副反応とされていた「多様な症状」にはHPVワクチン接種との因果関係が認められず
- 接種によるベネフィットがリスクを大きく上回ることから、厚生労働省が積極的な接種勧奨を再開
- 接種対象者の親世代を中心に、正しい知識や情報が浸透せず、接種は低迷している

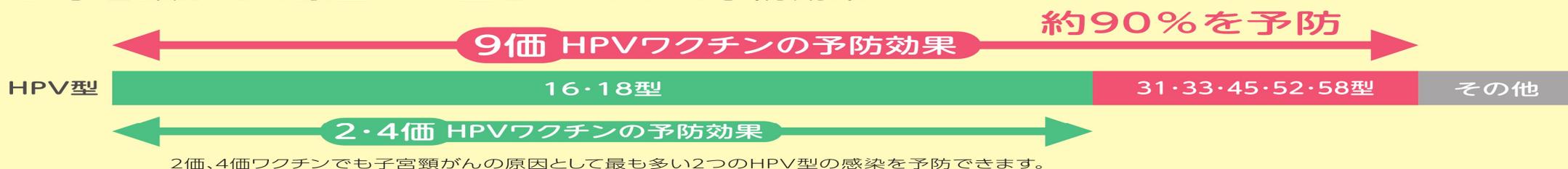
# HPVワクチンの種類・接種方法

定期接種（公費接種）対象 … 小学6年～高校1年相当の女性

一般的な接種スケジュール



● 子宮頸がんの原因HPV型とワクチンの予防効果



効能・効果：①子宮頸がん及びその前駆病変 ②外陰上皮内腫瘍並びに膣上皮内腫瘍（9価） ③肛門がん及びその前駆病変 ④尖圭コンジローマ

- 令和8年度から定期接種（小6～高1女性）には9価ワクチンのみ使用される
- 現在のところ男性接種は任意接種だが、4価及び9価ワクチンが使用可能
- 男性接種も定期接種に位置付けるべく検討が進んでおり、公費助成を開始した自治体もある

# HPVワクチンのキャッチアップ接種期限延長について

接種が完了できなかった方の接種期限が延長されています

令和6年度末までに計3回の接種を完了できなかった場合でも、キャッチアップ接種期間中に1回以上接種していれば、2～3回目を令和8年3月末まで公費(無料)で接種できます

## 接種期限が延長となる方

- ① キャッチアップ接種対象者でキャッチアップ接種期間中に1回以上接種した方
- ② 令和6年度に高校1年生相当(定期接種最終年度)の女子で、キャッチアップ接種期間中に1回以上接種した方

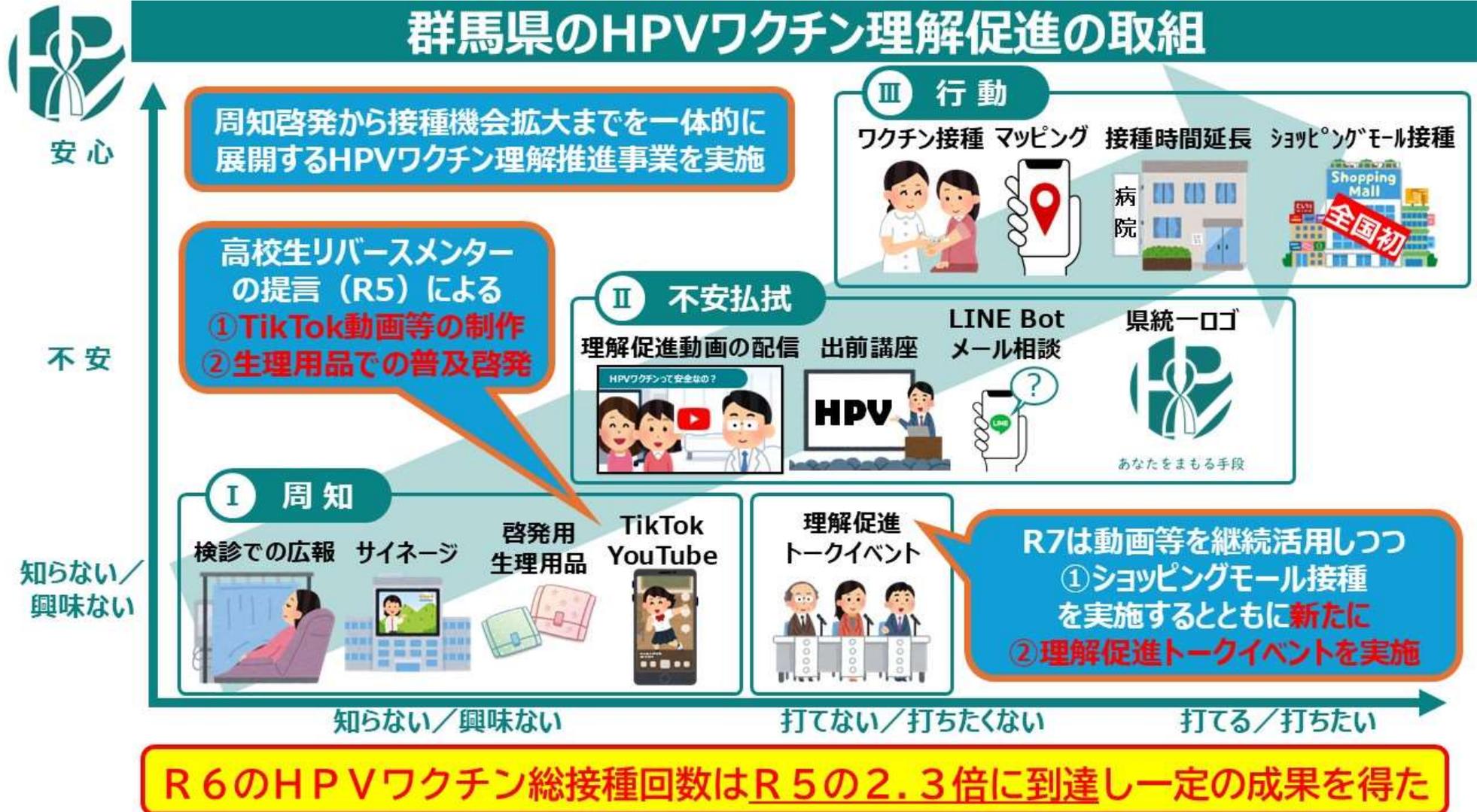
平成9～20年度生まれ(誕生日が1997年4月2日～2009年4月1日)の女子で  
令和4～6年度(2022年4月1日～2025年3月31日)に1回目または2回目を接種した方

【令和7年3月までに接種開始すれば2回目以降も公費(無料)接種可能になります！】



延長の対象となる方は、**令和8年3月までに接種できるように検討してください**

群馬県では包括的な啓発活動を実施し、R6年度の接種回数は前年比2.3倍に



# 主な令和7年度事業

MAMORU TALK

## まもろトーク2025

～いま話そう、HPVワクチンと子宮頸がん予防のこと～



8/21(木)  
入場無料

イオンモール高崎 セントラルコート  
(〒370-2521 群馬県高崎市中横馬町1400)

大切な人を、未来の自分を、  
“まもる”きっかけに。

近年、若い世代で子宮頸がんを発症する方が増えています。子宮頸がんの原因は、HPV(ヒトパピローマウイルス)で、多くの女性が一生に一度は感染する可能性があると考えられています。HPVの感染は、HPVワクチンで予防することができます。大切な人、未来の自分のために、今できることを。

トークセッション

14:00～ テーマ/正しく知ろう!子宮頸がんとHPVワクチン



タレント  
ゲスト  
休井 美郷 さん



群馬大学医学部  
産科婦人科学教室  
岩瀬 明 教授



産科婦人科助産師  
佐藤病院産婦人科  
荒木 春奈 医師

10:00～16:00 > がん対策について考えるための企業ブース出展  
がんと向き合っているためのヒントをお届けいたします。

群馬県 感染症・疾病対策課 TEL.027-226-2618

〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1

イベント詳細は特設HPをチェック! ▶▶▶

## イオンモール高崎が HPVワクチン 接種会場に!

2025年  
9/28日

予約はこちらから

特設会場  
イオンモール高崎 2F イオンホール

ワクチンコンシェルジュが相談にのります!(相談無料)  
相談・接種は個室で行います。

時間 11:00～17:00

無料接種  
対象者 県内在住の以下に該当する女性

- 小学校6年生～高校1年生相当
- キャッチアップ接種期間中(2022年4月1日～2025年3月31日)に1回以上接種した、1997年度から2008年度生まれの方

※接種は事前予約が必要です。

群馬県では、ほかにもこんなことをやっています!

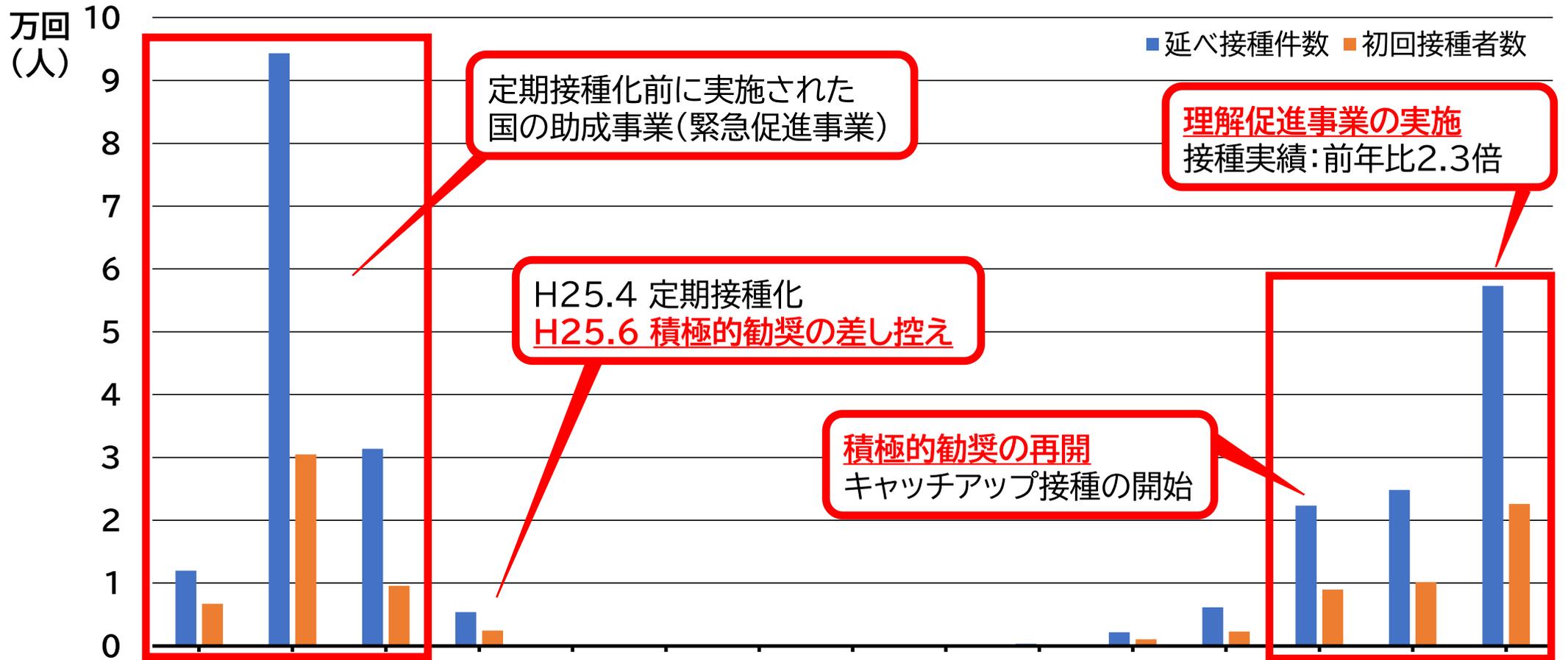
LINE相談窓口の開設

- ▶接種会場周辺のマッピング(検索)サイトオープン
- ▶専門家によるメール相談

「子宮頸がん」ゼロを目指して! 群馬県 群馬県医師会

くわしくは、こちらの二次元コードから ▶▶▶

# 本県におけるHPVワクチン接種状況



	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
延べ接種件数	11,968	94,356	31,387	5,399	237	137	62	81	154	320	2,182	6,136	22,343	24,833	57,301
初回接種者数	6,715	30,464	9,545	2,443	62	44	21	34	61	133	1,059	2,294	8,942	10,175	22,606

# 接種後に生じた症状への対応状況

## ○接種実績と副反応疑い報告件数

	平成22 ～令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予防接種件数（延数）	152,419	22,343	24,833	54,301
被接種者数（1回目を接種した者の数）	52,875	8,942	10,175	22,595
うち副反応報告件数	36	4	2	1
うち重篤な副反応	19	1	1	0

◎ 接種後に生じた症状に対しては、診療・相談体制が確保されています

### 【相談窓口】

①感染症・疾病対策課：027-226-2615

②健康体育課：027-226-4707

### 【協力医療機関】

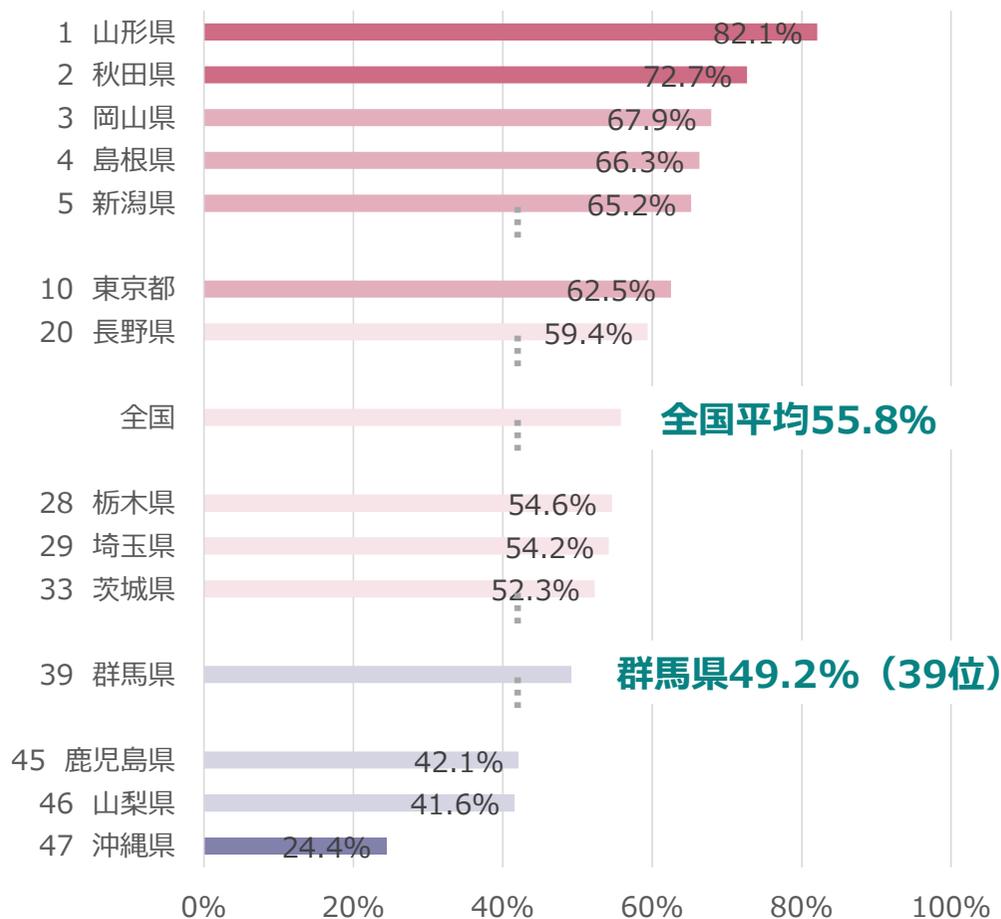
群馬大学医学部附属病院

※接種医・かかりつけ医に相談のうえで受診

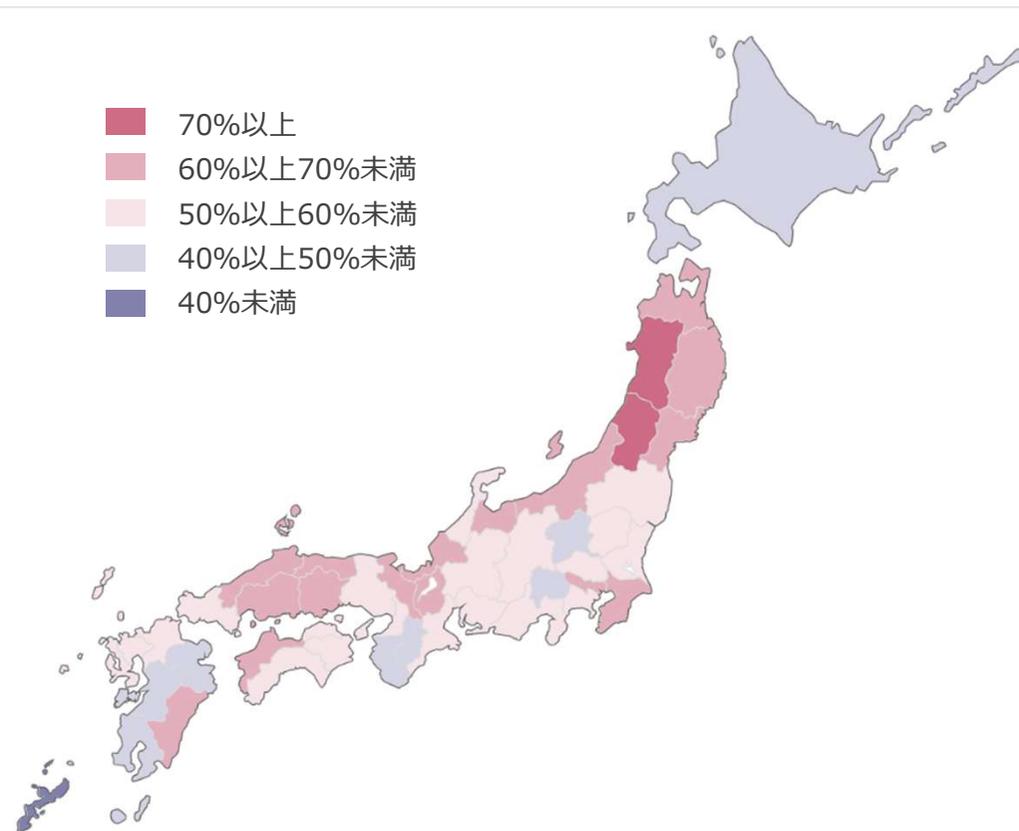
# 都道府県別の接種率を見ると、群馬県は39位と低位

## 16歳でのHPVワクチン累積初回接種率（M3総研による推計）

### ランキング



### 都道府県地図

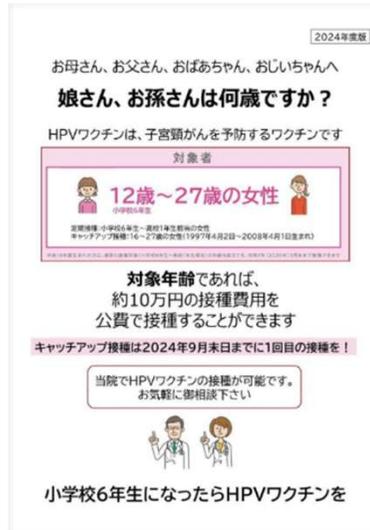


(注) 2024年度対象者の2025年3月末時点の接種率。  
(出典) [ワクチンJAPAN | 全国のワクチン接種率データ](#)

# 接種率上位県では、医療関係者や民間事業者の協力のもと、地域での啓発を展開

## 山形県・全国1位

県産婦人科医会を中心に、学校教育・地域での啓発を推進



- 県産婦人科医会で専門チームを立ち上げ、小中高校に専門医を派遣して、年間約100件の講話を実施
- 同医会で、地元のスーパー・飲食店等に啓発ポスターを掲示したり、地元の各種メディアで情報発信したりするなど、草の根の広報活動を実施

（出典）子宮頸がん予防ワクチンの16歳接種率、本県82.1%で全国首位 HPVワクチン接種率が日本1の山形県… | crumii

## 富山県・全国7位

医師会や民間と連携した声かけ、市町村への働きかけを実施



- （県議で産婦人科医の種部恭子氏が率先して取組を推進）
- 県医師会と協力し、親世代の「かかりつけ医」から声かけ
- 美容組合に働きかけて、接種世代にとってインフルエンサーとなる美容師から声かけ
- 行政と連携し、市町村別の接種率データをもとに、接種率の低い市町村の取組を後押し

（出典）HPVワクチン、接種率向上の決め手は「3つの格差」解消 | m3.com

# HPVワクチン理解促進事業の見直し

## 1 ショッピングモール接種 ⇒ 廃止

- ・事業実施に伴う広報効果も見込み、特定地域で限定的な日程・規模で実施した
- ・キャッチアップ接種の条件付延長が令和7年度で終了し、令和6年度にショッピングモール接種で接種した方へのフォローアップも完了するため廃止する

## 2 理解促進イベント ⇒ 廃止

- ・ショッピングモール接種とワクチンコンシェルジュの無料相談会に連動したイベントとして実施したため、ショッピングモール接種の廃止に伴い廃止する

## 3 普及啓発と機会拡大の充実 ⇒ 一部廃止して継続

### ① リーフレットとポスターの作成

#### ⇒ リーフレットのみ作成

- ・R6作成のオリジナルキャラクター、ロゴとキャッチコピーを活用したリーフレットを継続して作成配布する

### ② 啓発用品（生理用ナプキン）の配布 ⇒ 継続

- ・県内中学・高校等を中心に、啓発用品を配布する

## 4 地域の取組体制整備支援 ⇒ 更なる取組を進める

- ・市町村・郡市医師会・教育委員会等、関係者への働きかけにより、地域の取組体制構築を支援する
- ・好事例の横展開などにより、市町村の取組を支援する

**地域の関係者を巻き込み、予防接種実施主体である市町村による取組の活性化を目指す**

# 啓発資材の作成・配布

## リーフレット

- 県内全中学校を対象に配布
- 県ホームページに電子データを掲載  
URL : <https://www.pref.gunma.jp/page/651085.html>

## 生理用品

- 県内全中学校を対象に配布
- 県内全高等学校を対象に配布予定（3月中～下旬）

### 【配布予定数量】

- ✓ 共学校：200個
- ✓ 女子校：400個

※トイレへの設置等を想定



# 市町村・教育現場・医療関係者が一体となった推進体制構築への取組

## 【市町村・教育現場との連携・支援の強化】

市町村への個別のきめ細やかな支援を実施

### ①接種実績の分析・接種率向上に向けた助言

- ・県内35市町村の詳細な接種率調査に着手
- ・接種率の高低の要因を分析し、低位の市町村に対して、助言・指導を実施

### ②更なる広報啓発に向けた連携協力

- ・県作成の啓発資材(生理用品等)の活用希望に関する調査を実施中
- ・リーフレットは春季の接種勧奨通知に同封できるよう、市町村へ提供予定
- ・市町村教育委員会にも呼びかけ、学校現場での啓発を要請

## 【医師会・産婦人科医会等との連携の強化】

### ①専門医による学校教育に向けた連携

- ・県医師会の担当理事を中心に、専門医による学校教育の実施に向けた体制整備について協議
- ・他自治体の好事例を参考に、学校側が受け入れやすい内容を検討

### ②医師会等と連携した広報啓発の実施

- ・県作成の啓発資材の活用を依頼するとともに、医師会と連携した取組を検討
- ・学校医や学校薬剤師による学校保健委員会での講話や資料配布等の取組を検討

## 問い合わせ窓口

**群馬県健康福祉部感染症・疾病対策課**

**感染症危機管理室 予防接種係**

TEL : 027-226-2615 ・ 2618

FAX : 027-223-7950

Email : [corona-vaccine@pref.gunma.lg.jp](mailto:corona-vaccine@pref.gunma.lg.jp)